

2005 年度 科学史B 試験問題

担当・佐藤賢一

2006 年 2 月 1 日実施

以下の設問(I～VI)の中から3問を選択して答えなさい。

I 東アジアにおける近代以前の「地図」と「暦」は独特の役割を持っていた。それらの事柄について、具体例を挙げて説明しなさい。

II 近代以前の東アジアの4つの地域、中国・日本・朝鮮半島・琉球諸島は、互いに様々な情報の交流を行っていた。特に科学技術の方面に関する事柄について、具体例を挙げてその実態を説明しなさい。

III 中国の伝統的な数学で使われていた計算道具の変遷を、当時の社会状況、数学の理論との関わりを交えて説明しなさい。

IV 近世日本の数学(和算)に特徴的に現れたと思われる事柄について、その実態、背景などを絡めて、自由に解説しなさい。

(キーワードの例:『塵劫記』、関孝和、遺題継承、天元術、算額、家元制、……)

V 以下の語句、人名について科学史的背景を交えながら、説明しなさい。

- ① 九章算術
- ② マテオ・リッチ
- ③ 建部賢弘

VI 近世日本の天文学者が目指した西洋天文学の導入について、具体例を挙げて説明しなさい。

* 解答した問題番号を明記すること。3 問以上答えた場合は、得点の高低に関わらず、最初から順に 3 問を採点する。

* 解答用紙は両面を使用すること。

[以上]